

ウオワ エアブル羊毛学生服地の石けんと合成洗剤による洗たく劣化  
三重大学教育 ○ 海田 京子

目的 近年合成洗剤進取の代替品として、石けんに対する羊毛製品の洗たく耐性が問われる。羊毛、ポリエステル混紡学生服サーブ2種を被験布として、30回の繰り返し洗たくによる風合い劣化を、防縮加工の有無、石けんと合成洗剤による洗たく条件の相違、織物組織による相違等について調べた。

方法 1, 原料: ポリエステル, ウール50/50混紡,  $\frac{3}{40} \times \frac{3}{40}$ , および  $\frac{3}{66} \times \frac{1}{56}$ , 先染サーブの同一ロフトより採取した羊毛加工布と防縮加工布。2, 洗たく機: ナレオトル NO301, ウールマーク付(1977年), ウール洗淨サイクル。3, 洗剤: 1) 高アルカリ, エマールO(ラウリルサルフェート Na塩, 有効成分100%), 芒硝(有効成分100%) 50:50混合, 2) 石けん系, フレーマールセル石けん(有効成分90~95%) および芒硝 50:50混合, 浴比1:30, 40°C, 洗剤濃度0.3%。4, 洗たく条件: 石けん系: 洗い15分,すすぎ5分2回, 高アルカリ洗い5分,すすぎ2分2回, 脱水, 筒乾燥機後ドライアイロンを1サイクルとした。5, 物性および風合いの測定: KES-F計測システムにより, 引張り, せん断, 曲げ, 表面, 圧縮, T, Dの6特性, 16項目, およびH, V。

結果 1, 羊毛100%製品に比べて洗たく収縮が大きいのは, ポリエステル混紡の効果による。ポリエステル混紡品における防縮加工の効果は, およそ顕著ではない。2, KES-F特性値の変化は, 圧縮エネルギーWC, せん断セスクリス2H9, Tの増加に表われる。3, HV値については Koshiの低下, Numeriの増加, Fukuyamiの増加に表われ, いずれも石けん洗いによる影響が大きい。